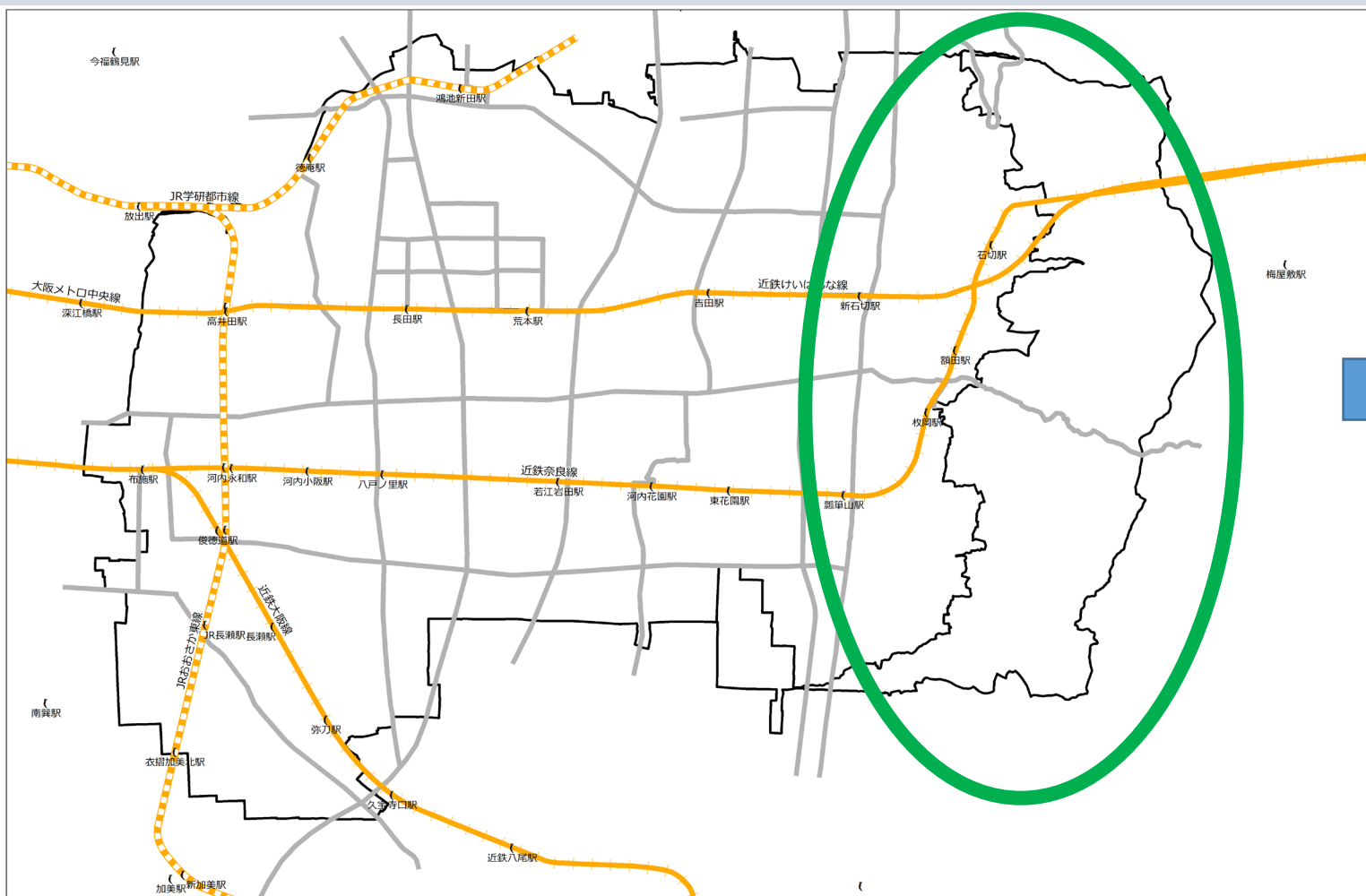


ライドシェアを活用した 買物困難者への支援の取り組み

2024年 9月 30日

東大阪市長 野田 義和

東大阪市の交通の状況



平地部

山麓部

東大阪市内全域の課題

- ・バス路線の減便・休止
- ・タクシーの市外流出
- ・高齢化の進行

東部エリアの課題

- ・生駒山麓部に広がる傾斜地
- ・徒歩や自転車の移動が困難
- ・道路が狭隘

買い物等の移動困難者の増加が危惧される

東大阪市の検討内容

バスの減便・休止

利用したくても利用できないタクシー

高齢者・子育て世代を中心に移動不便者の増加

ライドシェアの検討

AIオンデマンド乗合タクシーの実施

欧米型ライドシェア(3号)の調査

持続性(収益性)に課題

許可基準・市民理解に課題

買い物や通院に便利な【東大阪市版ライドシェア】を検討

東部エリアにおける取り組み AIオンデマンド乗合タクシー「mobi」

相乗り型ライドシェアの導入…AIオンデマンド乗合タクシー「mobi」

社会実験を令和5年8月14日から開始。R6年8月1日より社会実験2年目に突入

mobi(モビ)は徒歩や自転車、マイカーの
ちょい乗りに代わる新しい乗り物です。

「行きたい」と思ったときに
呼べば来る



指定した場所にお迎え!
行きたい場所へ



お迎えや到着予想時間
車両位置がわかる



決まったプロの
ドライバーが運転で安心



相乗りと最適ルートで
効率よく目的地へ



こんなところが便利!



今年度の取組:「mobi」と商店街の連携(予定)

石切参道商店街



瓢箪山中央商店街

mobiで商店街の店舗に行くとポイントを付与。ポイントで各種特典と交換。

<mobiの特徴>

利用の4割弱が60代以上、昼間の利用が多い

「商店街に行く理由」を交通で創出し、地域の活性化につなげる。
高齢者(交通弱者)が地域で活動しやすい環境を構築する。

AIオンデマンド乗合タクシー「mobi」の課題点 高齢者を中心に好評で、存続希望の声は多いが・・・

既存公共交通機関への影響

- ・バス利用者の減少
→減便・廃止のおそれ
- ・タクシー利用者の減少
→大阪市への流出：空洞化

持続可能性

- ・利用者の絶対数が少ない
→高齢者の多くが週1回程度の利用
- ・損益が議論できるレベルにない
→数倍に及ぶ値上げが必要

本市の課題解消に向けて

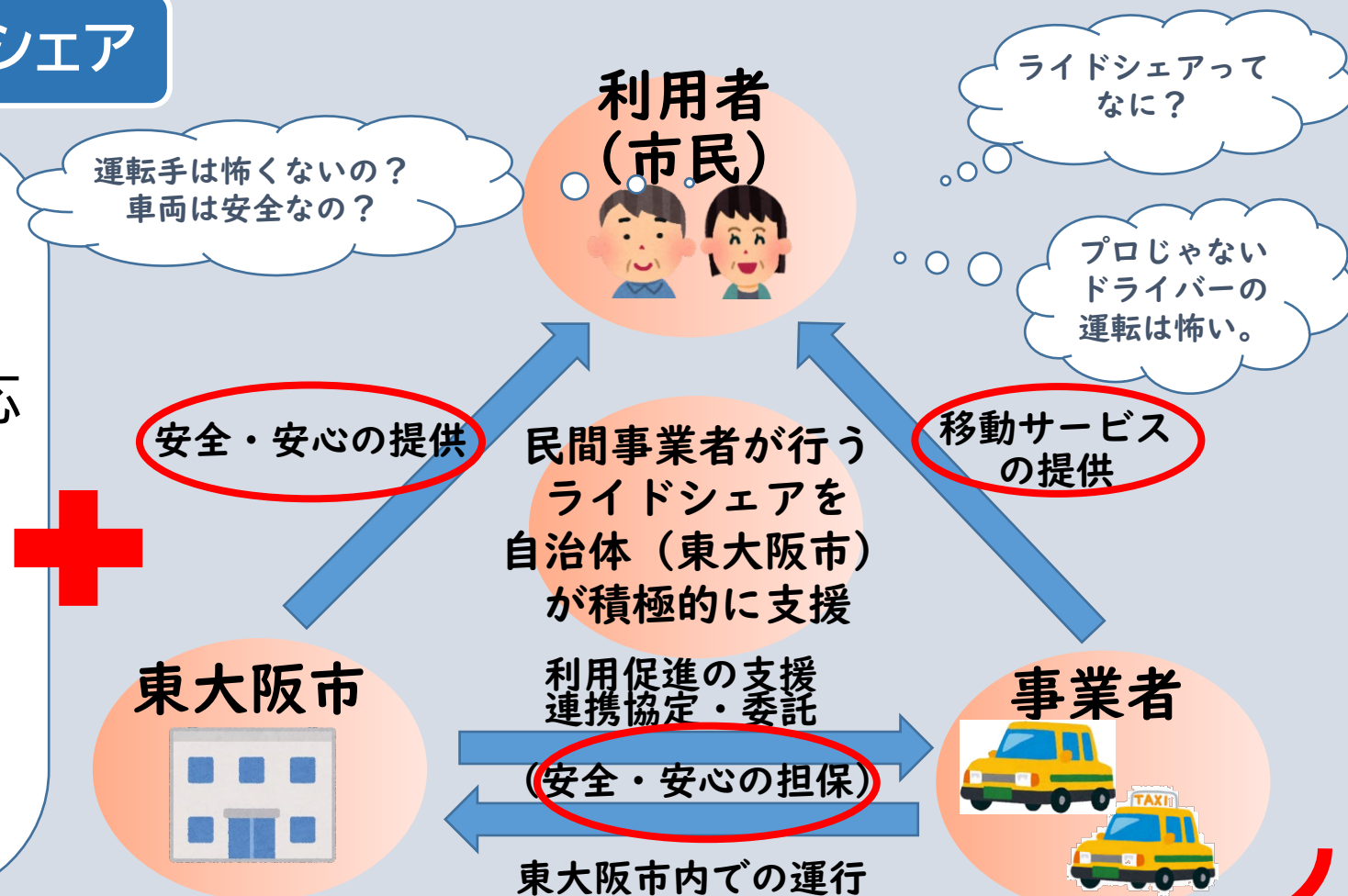


交通事業者が運営し、固定経費が不要な仕組み
【東大阪市版ライドシェア】の検討

今後の取り組み 東大阪市版ライドシェア

日本版ライドシェアの利点

- ・運転手不足
 - ・事業者への影響
 - ・固定経費を大幅に軽減
 - ・自家用車なので傾斜地や狭隘な道路を走行可能
- 課題に対応



買い物や通院に便利な東大阪市版ライドシェアを目指す